

(今月は61年7月21日から8月20日まで)に届出を済ませたものです。

うぶごえ (出生)

あかちゃん	誕生日	保護者	住所
堀越 未羽	7. 9	穂 稔	北野和12
真島 大祐	7.15	孝 孝	和12
石井 まり子	7.18	勇 男	和8
本田 上明	7.31	幸 志	富岡
川崎 あゆみ	8. 5	広 茂	西中
山崎 隆浩	8. 6	松 栄	夏井
阿部 中雅	8.11	勝 宏	間6
和田 高弘	8.16	高 南	谷内

おくやみ (死亡)

氏名	年齢	死亡月日	世帯主	住所
中野 由衛	65	7.20	由 宏	新谷間6
渡辺 寅雄	84	7.27	チエ子	間1
東條 守二	65	7.31	ト ヨ	和12
石田藤太郎	70	8. 7	勝 枝	石瀬
宇佐美勝久	72	8.19	光 枝	石瀬
桑原 キマ	80	8.19	矩二子	石瀬

自動車に乗ったらシートベルト

●シートベルトとヘルメット。どちらも命を守る大切なもの。忘れずに、正しく着用しましょう。

バイクを運転するときはヘルメット

9月21日～9月30日 秋の全国交通安全運動

おめでたおくやみ

仕事に、スポーツにと、活動期の九月に入り、みなさんいかがお過ごしですか。収穫の秋を迎え、農作業も忙しさを増すため、不規則な生活になりがちな一方、食欲の秋でもあり、肥満にならないようには……と、みなさん健康に過ごすことをいろいろ考えていることと思います。疲労が重なることにより、成人病の引き金になったり、現在の病状を悪化させることにもつながります。毎日の生活、特に食生活を大切にして欲しいと思いま



新・シリーズ(6) 文責/保健婦

暮らしの健康” 健康のカギ

「健康」の基本は正しい食事から

健康のカギ 食へるといふことは、健康の最も基本的なことです。それは、正しい食事によって得られます。三食の食事を作る時間は十分にとり、「忙しい」と言っても、手をぬかず、家族の健康のための食事を作るようにしてください。 それでは健康を維持するためのバランスのとれた献立の食品群をご紹介します。

からだが必要とする成分を大きく分類すると、たんぱく質、糖質、脂質、ミネラル、ビタミンの栄養素に分けられますが、健康を維持するためには、いずれの成分も欠かしてはならないし、また、過剰であってもいけません。元気で長生きする決め手はその栄養のバランスをとることです。毎日の献立を考へるとき、六つのそれぞれの食品群のうちから少なくとも一品ずつ取り合わせるようにすれば、栄養素のバランスのとれた食事ができます。 ☆チェックの習慣を――。



1 食卓に6群の食品欠かさずに

クレジット時代



クレジットを利用して分割払いで買物をしたところ、商品は店から届けられたのに、支払請求書はクレジット会社から送られてきました。以前、同じようにクレジットを利用したときは、請求書も買物をした店からきたのですが……



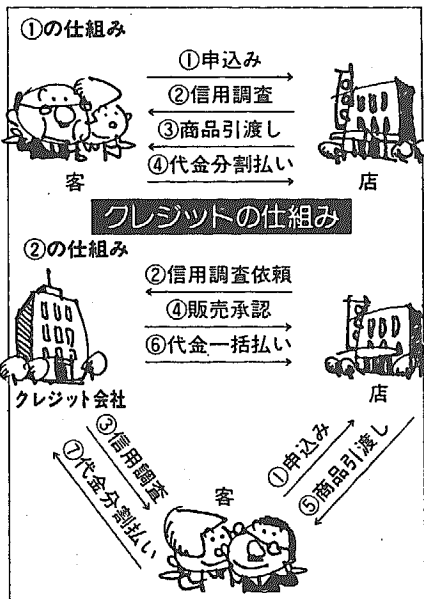
クレジット契約は大別すると、①客が直接、店と契約を結ぶものと、②客と店とクレジット会社の三者で契約を結ぶものがあります。(図参照)

クレジットの仕組み

店と客とクレジット会社の「三者契約」と店と客の「直接契約」があります

①は、客がクレジットで買物をする時、店は信用調査をした後、商品を客に届け、毎月の支払い請求書を送るという仕組みで、これが、ご質問の「以前のケース」にあたります。②は、販売店が、契約を結んでいるクレジット会社に客の信用調査を依頼し、売っても大丈夫という調査結果を見た後、商品を客に届けます。

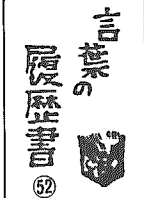
クレジットを利用する際の申込み方法には、①客が店に出向く②電話や郵便を使う③セールスマンを通して申込み④三連りあります。どの方法でもかまいませんが、大事なことは取引の条件など契約内容を十分に



確認することです。客に取引条件をはっきり示すことは、法律で業者に義務づけられています。客の側でも、疑問点があれば納得のいくまで説明を受けるようにしましょう。 また、クレジットの契約書には大切なことが書かれていますので、契約する際はよく読むとともに、書面は大切に保管しましょう。

客に対する信用調査の内容は、年収や将来の収入の安定性など、経済的な能力についてが中心となります。 代金の支払いは、クレジット会社が提携している金融機関を通じて、客の預貯金口座からの自動振替によるケースが多くなっています。ほかに振込みや持参払いという方法が採られることもあります。この点についても、申込み時に確かめておきましょう。

早稲・晩稲



「まだ恋人がいないなんて、彼女はかなり、おくて、だね」などと言いますが、これは生長の遅い稲の品種「晩稲」からきた言葉。成熟の遅い人のたとえに用いられています。 水稲の中では、八月に穂が出て九月に実る「わせいな」の「早稲」が、最も生長の早い品種。「わせ」は早生の意で、「わせいも」「わせあわ」「わせいちご」など、いずれも早生種の名称です。 晩秋の十月、霜のおりるころに成熟する「晩稲」は「奥手」で、最も遅い種類。「おしね」とも呼ばれるのは「遅稲」が変化したものと考えられています。「早稲田」とは、早稲を作る田のこと。江戸——現在の東京に、早稲田村という村名が生まれたのは、江戸時代もごく初期のこととされています。 その早稲田に、大隈重信が東京専門学校(早稲田大学の前身)を創設したのは明治十五年でした。福沢諭吉の慶応義塾、新島譲の同志社に並ぶ歴史をもち、日本の大学の中でも早生種といえるでしょう。

言葉の歴史書 ②